

アスラン 株式会社
代表取締役

小林 康史

長野県松本市出身。学業修了後は横浜のホテルに就職し、ホテルマンを経験する。退職後は地元に戻り、26歳で携帯電話基地局の建設会社へ入社。先輩の厳しい指導にめげず実力を磨き、元請け会社の関東進出と歩調を合わせ埼玉県さいたま市で独立。2016年にアスラン（株）を設立し、法人化を果たした。



置局から施工までの一貫対応で他社と差別化 仲間と共に歩む電気通信工事のエキスパート

携帯電話基地局の工事で地域住民の暮らしを支える会社。それがさいたま市のアスラン（株）だ。「人生の締めくりまで基地局を建てる」と宣言する小林康史社長は、他社が嫌がる現場にも積極的に飛び込み信用を高めている。その熱き信念を、元ボクシング世界王者の内山高志さんがうかがった。

Guest Comment>>



内山 高志（元ボクシング世界王者）

置局から施工まで一貫して手がけるアスラン（株）さんに頼めば、基地局建設の手間もコストも大幅に下がるでしょう。小林社長は、業界に骨をうずめる強い覚悟をお持ちの方です。アスラン（株）さんにお任せして損はないと思います。今後もその姿勢を貫き通し、最高のスタッフさんと共に業界の先陣を切っていきましょう！私も陰ながら応援しています。

先輩の誘いで携帯電話基地局の現場へ

内山 まずは、小林社長が独立されるまでの歩みを教えてください。

小林 私は長野県松本市で生まれ育ちました。地元の高校を卒業後は、横浜で開業したばかりのホテルに就職しました。ただ、ホテルマンは私の性に合わず数年で退職し、松本に戻って職探しをすることにしました。そのとき、小学生の頃から付き合いのある先輩が「一緒に仕事をしよう。お前が来るなら独立する」と声を掛けてくださったんです。その仕事は、当社の事業でもある携帯電話基地局の設備工事でした。26歳でこの業界に飛び込んだ私は、先輩が立ち上げた会

社で一から技術を学んでいったのです。

内山 未経験の分野で、修業中は大変なことも多かったのでは？

小林 ええ。この仕事は鉄塔に登ることが多いのですが、そもそも私は高いところが苦手だったんですよ（笑）。それに、先輩はこの業界でも有名な厳しい方で、怒られ続ける毎日に心が折れそうになりましたね。でも、菌を食いしばって頑張るうちに技術を身に付け、やがて個人事業主として独立することになったんです。そして、2016年に法人化を果たすことができました。

内山 松本で活躍されていた社長が、埼玉の地で開業されたのには何か理由が？

小林 先輩の会社に仕事を発注していた

元請けさんは、本社が名古屋だったので、関東でも事業を始めるということでも一緒にさいたま市で独立することにしたんです。現在も、当社は埼玉県をはじめとした北関東エリアの工事を担当しています。

置局から施工まで自社で手がける

内山 では、事業内容についてもお聞かせください。

小林 この仕事には「置局」「設計」「施工」の3つの段階があります。置局とは、基地局を建てたい土地や建物のオーナーさんのところへうかがい、携帯電話会社の代理で場所をお借りするための交渉をすること。契約がまとまったら基地局を設計し施工していくんです。業界内には施工しかできない会社もたくさんありますが、この工程のすべてを自社で手がけることができる点が私たちの一番の強みですね。現在、第5世代移动通信システム(5G)の基地局を整備するため、多忙な毎日を送っているところです。

内山 オーナーさんとの交渉まで任せてもらえるのは、社長が元請け会社さんや携帯電話会社さんから大きな信頼を寄せられている証拠ですね。

小林 ありがとうございます。もちろん私も数々の失敗をしてきましたが、「失敗するから強くなれる、2度と同じ失敗

は繰り返さない」と決意して仕事に取り組んできました。当然、これまでの年月には浮き沈みもありました。しかし、人生の締めくくりまで基地局を建てると決意し、前に進んでいるんです。

内山 それは素晴らしい。社長の仕事に対する覚悟がうかがえますよ。そんな生涯現役を貫く社長が、普段から心がけていることはありますか？

小林 正直に言うと、図面があれば基地局の建設はどの会社が手がけても仕上がりに大差はありません。だからこそ、当社は置局や設計も手がけたり、現場で誰に会ってもごあいさつをしたりと、さまざまな点で「他社とは違う」と感じいただける付加価値を付けることを大事にしています。

あと2ラウンドの仕事を着実にこなす

内山 そのためには、現場で動いてくれるスタッフさん一人ひとりの力が重要になってきそうですね。

小林 もちろんです。埼玉県出身でない私には横のつながりがありませんでしたが、「人に裏切られても自分から裏切ることは絶対にしない」という信念を貫き、現在は、3名の社員や協力会社のスタッフさんたちと一致団結しています。

内山 お話をうかがっていると、社長が充実感を持って事業に打ち込んでいらっ

しやる様子が伝わってきます。その原動力はどこにあるとお考えですか？

小林 私は「ノー」と言えないタイプで、それこそが、これまで突き進んでこれた理由の1つなのでしょうね。例えば、冬の新潟での工事は雪かきだけで半日はどつぶれるので依頼を断る同業者も多いんです。しかし私は新潟にも喜んで出張してきましたし、人がやりたくないと思う現場ほど積極的に飛び込んで信用を得てきました。でも、そういう仕事ができるのは素晴らしい仲間がいるおかげ——私は、この最高の仲間たちと手を携えてどんどん成長していくつもりです。

内山 お話の端々から男気を感じる小林社長。御社の将来がますます楽しみになってきました。それでは最後に、将来の目標をお聞かせください。

小林 創業から苦労を共にした、会社のブレインである川上とスタッフと手を携え、事業を長く続けることが私の目標です。「継続は力なり」という格言が示すように、無理に仕事を増やそうとしなくても、現在の勢いを維持していれば自然と会社も大きくなると考えているんですよ。私の人生も50年を過ぎ、ボクシングの世界戦に例えると今は10ラウンドを終えたあたりでしょうか。残りの勝負はあと2ラウンドなので、あまり遠くを見過ぎず目の前の仕事を着実にこなしていきたいですね！

Company Data>>



アスラン 株式会社

〒330-0856

埼玉県さいたま市大宮区三橋 2-801-2

ベルデュールウエルズ 107

URL <https://as-run.co.jp/>

